

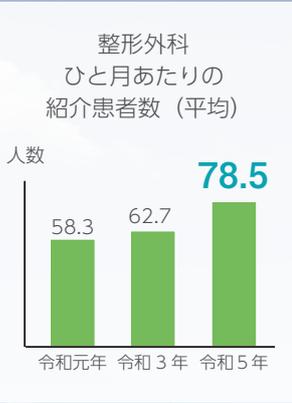
# 地域の中核を担う病院を目指して

【問】西部メディカルセンター ☎24-91111(代表)

## 地域医療支援病院として 役割を果たす

当院は地域医療支援病院として認定を受け、地域の各医療機関と連携を図り、地域全体で「二つの病院」となることで、患者さんに切れ目のない医療の提供に取り組んでいます。今回の西部めでいかるだよりでは、当院の地域医療の中核としての取組やその特徴などを整形外科にスポットを当てて紹介します。

当院の整形外科は、昨年12月に最新の医療機器の運用を開始し、地域の医療機関からの紹介患者数も年々増加傾向にあり、地域医療の充実化が進む診療科の一つです。



## PickUP

# 整形外科

最新の医療機器で安全な手術を

整形外科では、骨や関節などをはじめとした運動器官を構成する、すべての組織のケガや病気の診療を行います。新生児から高齢者まで全ての年齢層が対象になり、その内容は多様で治療に必要な患者数が極めて多いのが特徴です。

現在、常勤医師と、筑波大学からの非常勤医師の計10人が勤務しています。特に、股関節、脊椎を専門とする医師が在籍し、変形性股関節症などの関節疾患や、脊柱管狭窄症などの脊椎

## 当院の整形外科の特徴

の病気の専門的治療を行っています。

来院する患者さんの傾向は、地域の医療機関から、難治性の腰痛や関節痛などで手術を希望する患者さんの紹介が増えています。

そして、当院の最大の特徴は今年1月に導入した最新のナビゲーション手術支援機器です。令和6年1月現在、県内に2台しかない貴重な機器です。脊椎外科手術で使用し、安全性の高い手術を実現しています。



最新のナビゲーション手術支援機器

加えて、令和4年6月から「骨折リエンジニアリングチーム」が始動。多職種が連携し各々の強みを生かして、骨粗しょう症の予防・改善、骨折防止に取り組んでいます。



詳しくはこちら

## 脊椎外科手術ってどんな手術？

腰部脊柱管狭窄症などの脊椎手術は、神経、血管、臓器周囲の操作を伴い、重大な危険性がある分野です。

日本脊椎脊髄病学会が認定している指導医は県内に37人しかおらず、手技内容によっては、手術ができる医師が限られています。そのうち2人が当院の常勤医師として勤務しています。

私は年間100件ほど手術を担当しています。そういう状況の中でより精度の高い手術を行うため、最新のナビゲーション手術支援機器を導入しました。

## この機器は何がすごいのか？

術中に立体的な脊椎の3D-CT画像が作成でき、限りなく正確な空間認識が可能です。これにより、より安全な手術が可能と考えています。



しばお よすけ 先生  
柴尾 洋介 先生



もっと知りたい！

脊椎外科の柴尾先生に最新機器のすごところを聞きました